

京都大学教育研究振興財団助成事業  
成果報告書

2023年 7月 3日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団  
会長 藤 洋 作 様

所属部局・研究科 京都大学大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学

職名・学年 博士課程4年

氏 名 中島 友也

助成の種類	令和5年度・国際研究集会発表助成			
研究集会名	欧州リウマチ学会2023年次学術集会			
発表形式	<input type="checkbox"/> 招待 ・ <input type="checkbox"/> 口頭 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター ・ <input type="checkbox"/> その他( )			
発表題目	多施設共同研究におけるベーチェット病患者のぶどう膜炎および消化器病変とHLA-A26の関連			
開催場所	イタリア ミラノ (MiCo Convention Center)			
渡航期間	2023年 5月 30日 ～ 2023年 6月 5日			
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )			
会計報告	交付を受けた助成金額	350,000 円		
	使用した助成金額	350,000 円		
	返納すべき助成金額	0 円		
	助成金の使途内訳 (差し支えなければ要した 経費総額をご記入ください)	費 目	金 額 (円)	
		航空運賃	248,820	
		宿泊費	126,600	
		滞在費		
学会参加費		42,000		
その他				
以上に助成金を充当				
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 円安に沿った助成金額設定を行っていただき大変助かりました。			

# 成果の概要

京都大学大学院医学研究科 内科学講座臨床免疫学

博士課程 4年 中島 友也

今回6月にイタリア・ミラノで開催された欧州リウマチ学会 2023 年次学術集会に参加し、「多施設共同研究におけるベーチェット病患者のぶどう膜炎および消化器病変と HLA-A26 の関連」の題目でポスター発表を行った。

研究対象としたベーチェット病は日本をはじめとする東アジア諸国の他、中近東、地中海沿岸諸国での発症が多く報告されており、特に世界初の報告がトルコのイスタンブール大学皮膚科 Hulusi Behçet 教授からなされたことからその名がつけられたこともあり、トルコでの研究活動が活発である。今回、ポスターの発表内容に関して国際学会において直接トルコ人の研究者と議論を交わせたことは大変有意義であった。各 HLA ハプロタイプの保有率は地域ごとに異なっており、発表における解析の主対象である HLA-A26 は東アジアでの保有率が高く地中海沿岸諸国での保有率は低いとされているが、実際にベーチェット病の研究が盛んでありながら HLA-A26 の保有率が低いトルコにおける HLA ハプロタイプの認識の実際を知ることが出来たことは今後の研究、実臨床に生かせるものであると感じた。

自身の発表の他にも、学術集会では臨床・基礎の最新の研究成果が多数報告されており、臨床に関しては世界中の実臨床現場で用いられている代表的な疾患のマネジメントについての推奨が変更となることが論文化に先駆けて発表され、その内容に関して世界で最も早く議論が交わされていく現場に立ち会えたことには大変感銘を受けた。基礎的な研究に関しては、今後製薬などにもつながっていくであろう最先端の研究成果が多数報告されており、そういった内容について実際に研究者と直接議論を交わしながら理解を深めることが出来たことは世界的な学術集会に現地に参加したからこそその成果であるように考えられた。